

マルチオミクスアプローチを用いた膵がんに対する創薬標的の探索

2011年1月1日から2022年03月31日までに膵がんのために手術治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「マルチオミクスアプローチを用いた膵がんに対する創薬標的の探索」という研究を倫理委員会の承認並びに学長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2011年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、膵がんのため生検あるいは手術治療を受けられた患者さんの腫瘍組織に含まれる分子を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：マルチオミクスアプローチを用いた膵がんに対する創薬標的の探索

研究期間：2022年10月31日～2027年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門 助教 三浦 奈美

(2) 研究の意義、目的について

現在膵がんは早期発見が困難であり、再発率も高く予後不良ながんとして知られています。膵がんではKRAS、TP53、SMAD4、CDKN2Aの4遺伝子が高頻度に変異を認めることが知られていますが変異に対する明確な治療法は確立されていません。今回の研究では、膵がんにおいて遺伝子変異に対する新しい治療の標的となる分子を探索することを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2011年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて手術を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用いたします。

試料：手術時に切除した臓器・周囲組織、リンパ節組織

情報：年齢、性別、手術日（治療日）、診断名、病期、腫瘍組織の遺伝子変異、等

これらの試料・情報は、日本医科大学付属病院から日本医科大学へ提供されます。日本医科大学と共同研究機関で匿名化された状態で厳重に保管いたします。これらの試料・情報は、日本医科大学と日本医科大学付属病院で匿名化された状態で、セキュリティ管理された研究グループが管理するサーバーで厳重に保管いたします。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門

研究全体の責任者：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門 助教 三浦 奈美

その他の共同研究機関：日本医科大学大学院 統御機構診断病理学、日本医科大学付属病院 病理診断科、消化器外科

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省 告示第1号）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) 本学における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 消化器外科 松下 晃

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6752

メールアドレス：akira-matsushita@nms.ac.jp